

ひよこ教室だより



令和4年 11 月

静岡県立静岡視覚特別支援学校

超早期指導教室

電話 054-283-7300

soudan.shizuoka-sb@edu.pref.shizuoka.jp

紅葉が美しい季節になりました。今頃は、自然のものに人の意識が向きやすい時期です。自然のものと出会い親しむ時間をお子さんと一緒に過ごしてみませんか。

自然のものと出会い親しむ（例）

【音】 落ち葉を踏む 落ち葉が舞う 袋の中で落ち葉が動く モズの声

【匂い】 果物（みかん、りんご、カリン） 落ち葉 山茶花の花

【触り心地】 落ちたばかりの葉 乾いた葉 銀杏の葉 松かさ ミカンの皮

お友達の紹介

※Eちゃん※

色のはっきりしたクリスマスツリーの飾りに興味をもちました。お母様が話しかけながらはっていく様子や赤と白のキャンディースティックなどの飾りを見ていました。同じものに注意を向け感じることで二人の間に共通の認識が流れ、愛情が深まると言われています。素敵な場面です。



※Fちゃん※

鏡やキラキラした絵が好きです。顔の絵も大好きです。顔の絵を少し探すこともあります。さかさまになった顔の絵を見るとおかしいなあという表情になります。夜空に小さな白い星が出ている絵も気に入りました。楽しさが見る意欲の向上につながります。大事にしたいあらわれです。



お知らせ

■年末年始の相談

ひよこ教室を御利用くださり、ありがとうございます。

年内の相談は12月20日（火）まで、新年は1月12日（木）からです。

小麦粉粘土であそぼう ～感触あそび～

感触遊びはさまざまな素材に触れ、感触の違いや変化を楽しみ学んでいく機会になります。造形活動にもつながっていきます。夢中になりずっと遊び続けるお子さんもいらっしゃいますが、お子さんによっては触れたがらない、嫌がるというお話を度々耳にします。一般的に抵抗なく受け止めやすい感触とそうでないものがあります。

【抵抗なく受け止めやすいのは、どれでしょう】

1 硬めの小麦粉粘土



2 柔らかめの小麦粉粘土



3 小麦粉



一番抵抗が少ないのは「1」で、「1」→「2」→「3」の順に抵抗が増します。小麦粉粘土に限らず、硬めで形がしっかりしているものの方がすんなりと受け入れやすいようです。お子さんが受け入れる柔らかさを確かめ、水を少し加えてちょっとずつ柔らかいものも用意してみましょう。ハンドオンハンド（共同動作）もよいかもしれません。

家庭で作る場合、小麦粉と水を混ぜ始めるところからやるのに抵抗があるようなら、ある程度まとめてからお子さんも触るようにしてみてもいいでしょうか。楽しく遊ぶことを大事にしながら活動を徐々に広げるとよいようです。小麦粉に親しむ機会も様子を見つつ入れてみてください。のってこなければ、小麦粉粘土のそばに少し小麦粉をまくとか、予告してからお子さんが持っているものにふりかけるなど、スモールステップを工夫しながら楽しくやってみましょう。



小麦粉粘土の作り方

- ・ボールなどに小麦粉を入れます。
- ・水を少しずつ足し、好みの柔らかさになるまで様子を見ながらよくこねます。
（一般的には「耳たぶくらいの柔らかさ」だそうです。）
- ※塩を少々入れると小麦粉がいたむのを防いでくれます。

ほかに、パン粉粘土（パン粉＋水）、片栗粉スライム（片栗粉＋水）もあります。